

- 1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- 千葉商店に注文していた商品 ¥620,000 が到着したので、さきに受け取っていた貨物引換証と引き換えに商品を引き取った。なお、引取費用 ¥9,000 は現金で支払った。
 - 茨城商店から注文のあった商品 ¥1,500,000 を発送し、代金のうち ¥1,200,000 については、取引銀行で荷為替を取り組み、割引料を差し引かれた手取金 ¥1,194,000 は当座預金とした。なお、残額は掛けとした。
 - 取得原価 ¥800,000 の商品陳列用ケースを ¥200,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この商品陳列用ケースに対する減価償却累計額は ¥540,000 であり、備品減価償却累計額勘定を用いて記帳している。
 - 北海道商店の本店は、決算の結果、支店が当期純利益 ¥850,000 を計上したとの通知を受けた。(本店の仕訳)
 - 埼玉産業株式会社は、次の条件で社債を発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、この社債の発行に要した諸費用 ¥750,000 は小切手を振り出して支払い、全額繰延資産として処理した。

額面総額	¥40,000,000	利率	年2%	利払い	年2回
払込金額	@¥98.20	償還期限	10年		
 - 栃木商事株式会社は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は ¥2,930,000 である。

利益準備金	¥230,000	配当金	¥2,300,000	別途積立金	¥400,000
-------	----------	-----	------------	-------	----------
 - 宮城産業株式会社は、決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,700,000 を計上した。ただし、仮払法人税等勘定の残高が ¥900,000 ある。

- 2 次の取引を特殊仕訳帳としての仕入帳に記入し、総勘定元帳と買掛金元帳に転記しなさい。ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - すでに記入してある取引も転記すること。
 - 総勘定元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、当座預金出納帳・売上帳を用いている。

取引

- 1月7日 青森商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

B品	490個	@¥500	¥245,000
----	------	-------	----------

 2日 山形商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

C品	230個	@¥900	¥207,000
----	------	-------	----------

 22日 山形商店から仕入れた上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品した。

C品	10個	@¥900	¥9,000
----	-----	-------	--------

- 3 次の各問いに答えなさい。
 (1) 神奈川商店(個人企業)の下記の資料と繰越試算表によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 仕入高 b. 期首負債

資料	
i 期首の資産総額	¥2,511,000
(うち商品 ¥630,000)	
ii 期間中の収益および費用	
売上高	¥9,370,000
受取手数料	50,000
売上原価	7,476,000
営業費	1,418,000
支払利息	12,000
iii 期間中の追加元入額	¥150,000
iv 期間中の引出金	¥90,000

繰越試算表			
平成〇年/2月31日			
借方	勘定科目	貸方	
730,000	現売		
1,470,000	繰越		
650,000	備		
320,000	買		
	借		
	資		
		925,000	金
		480,000	品
		1,765,000	金
3,170,000		3,170,000	

- (2) 福島商店(個人企業)の本店および支店の貸借対照表と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 本店貸借対照表の支店(Aの金額) b. 本支店合併の商品 c. 本支店合併の当期純利益

本店 貸借対照表			
平成〇年/2月31日			
資産	金額	負債・資本	金額
現金	510,000	支払手形	380,000
当座預金	1,670,000	買掛金	2,240,000
売掛金	1,530,000	資本金	3,500,000
商品	960,000	当期純利益	870,000
備品	()		
支店	(A)		
	6,990,000		6,990,000

支店 貸借対照表			
平成〇年/2月31日			
資産	金額	負債・資本	金額
現金	250,000	支払手形	580,000
当座預金	470,000	買掛金	630,000
売掛金	690,000	本店	570,000
商品	410,000	当期純利益	424,000
備品	384,000		
	2,204,000		2,204,000

未達事項

- 本店から支店に発送した商品 ¥60,000 (原価) が、支店に未達である。
- 支店で本店の買掛金 ¥80,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- 本店で支店従業員の旅費 ¥50,000 を立て替え払いたしたが、この通知が支店に未達である。
- 支店で本店受取分の手数料 ¥30,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。

4 群馬商店の6月10日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

6月10日 宇都宮商店に商品 ¥370,000 を売り渡し、代金のうち ¥260,000 は同店振り出しの約束手形#17で受け取り、残額は現金で受け取った。

入金伝票		出金伝票		売上传票	
売掛金	230,000	買掛金	228,000	鹿沼商店	329,000
受取家賃	60,000	当座預金	425,000	佐野商店	541,000
当座預金	450,000	支払利息	18,000	小山商店(戻り)	10,000
売掛金	348,000	備品	250,000	足利商店	265,000
() ()		() ()		日光商店	170,000
				() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
当座預金	490,000	売掛金	490,000	桐生商店	274,000
買掛金	100,000	受取手形	100,000	伊勢崎商店	119,000
備品	250,000	未払金	250,000	高崎商店	350,000
買掛金	340,000	当座預金	340,000	前橋商店	169,000
() ()		() ()		太田商店(値引)	3,000
				() ()	

5 岩手商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 579,000	当座預金	¥ 1,680,000	受取手形	¥ 1,700,000
売掛金	3,600,000	貸倒引当金	37,000	有価証券	2,040,000
繰越商品	1,090,000	貸付金	2,400,000	備品	1,900,000
備品減価償却累計額	855,000	支払手形	1,580,000	買掛金	3,420,000
従業員預り金	130,000	資本金	8,000,000	売上	17,250,000
受取手数料	182,000	仕入	12,580,000	給料	2,640,000
支払家賃	1,020,000	保険料	132,000	消耗品費	72,000
雑費	21,000				

付記事項

① かねて受け取っていた仙台商店振り出しの約束手形 ¥200,000 が、期日に当座預金に入金されていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥1,170,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ3%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 取得原価 ¥1,900,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は6年とし、定額法による。
定額法による年間の減価償却費 = $\frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する盛岡商事株式会社の株式30株(帳簿価額 @ ¥68,000)であり、1株につき ¥66,000 に評価替える。
- 消耗品未使用高 ¥ 13,000
- 手数料前受高 ¥ 14,000
- 利息未収高 貸付金に対する1年分の利息は ¥84,000 で、貸し付けた日から1年後に受け取るようになっており、4か月分の未収高を計上する。

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年6月/〇日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		備 品		
		買 掛 金		
		未 払 金		
		売 上		
		受 取 家 賃		
		仕 入 息		
		支 払 利 息		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3) 損 益 計 算 書

岩手商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料	()	()	
()		受 取 手 数 料	
()		受 取 利 息	
支 払 家 賃	()	()	
保 険 料			
消 耗 品 費			
雑 費			
()			
()			

貸 借 対 照 表

岩手商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		従 業 員 預 り 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券			
商 品			
()			
貸 付 金			
()			
備 品 ()			
減 価 償 却 累 計 額 ()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	仕 入 629,000	未 着 商 品 (または未 着 品) 620,000 未 現 金 9,000
b	当 座 預 金 1,194,000 手 形 売 却 損 6,000 売 掛 金 300,000	売 上 1,500,000
c	備品減価償却累計額 540,000 未 収 金 200,000 固 定 資 産 売 却 損 60,000	備 品 800,000
d	支 店 850,000	損 益 850,000
e	当 座 預 金 39,280,000 社 債 発 行 費 750,000	社 債 39,280,000 当 座 預 金 750,000
f	繰越利益剰余金 2,930,000	利 益 準 備 金 230,000 未 払 配 当 金 2,300,000 別 途 積 立 金 400,000
g	法 人 税 等 1,700,000	仮 払 法 人 税 等 900,000 未 払 法 人 税 等 800,000

2

仕 入 帳

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 簿	買 掛 金	諸 口
		前ページから		793,000	490,000
1/15	支払手形	秋田商店 約手	13		300,000
	買掛金	掛 け	買1	168,000	
		A品 720個 @ ¥650			
17	当座預金	青森商店 小切手	✓		245,000
		B品 490個 @ ¥500			
21	買掛金	山形商店 掛 け	買2	207,000	
		C品 230個 @ ¥900			
22	買掛金	山形商店 掛け戻し	買2	9,000	
		C品 10個 @ ¥900			
				1,168,000	1,035,000
31			14		1,168,000
"		総仕入高	25		2,203,000
"		仕入戻し高	14/25		9,000
		純仕入高			2,194,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金		2
1/1	前期繰越	1,600,000
	支 払 手 形	13
	1/1 前期繰越	450,000
	15	300,000
	買 掛 金	14
1/31	9,000	1/1 前期繰越 620,000
	31	1,168,000
	仕 入	25
1/31	2,203,000	1/31 9,000
	買 掛 金 元 帳	
	秋 田 商 店	1
	1/1 前月繰越	190,000
	15	168,000
	山 形 商 店	2
1/22	9,000	1/1 前月繰越 230,000
	21	207,000

3

(1)	a	仕 入 高 ¥ 7,496,000	b	期 首 負 債 ¥ 1,320,000		
(2)	a	本店貸借対照表の支店(アの金額) ¥ 730,000	b	本支店合併の商 品 ¥ 1,430,000	c	本支店合併の当期純利益 ¥ 1,274,000

仕 訳 集 計 表
 平成〇年6月10日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
1,198,000		現 金		921,000
915,000		当 座 預 金		790,000
260,000		受 取 手 形		100,000
1,675,000		売 掛 金		1,448,000
500,000		備 品		
671,000		買 掛 金		912,000
		未 払 金		250,000
10,000		売 上		1,675,000
		受 取 家 賃		60,000
912,000		仕 入		3,000
18,000		支 払 利 息		
6,159,000				6,159,000

4

5

(1)

	借 方	貸 方
①	当 座 預 金 200,000	受 取 手 形 200,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,090,000	繰 越 商 品 1,090,000
	繰 越 商 品 1,170,000	仕 入 1,170,000
b	貸 倒 引 当 金 37,000	貸 倒 引 当 金 戻 入 37,000
	貸 倒 償 却 153,000	貸 倒 引 当 金 153,000
c	減 価 償 却 費 285,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 285,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 評 価 損 60,000	有 価 証 券 60,000
e	消 耗 品 13,000	消 耗 品 費 13,000
f	受 取 手 数 料 14,000	前 受 手 数 料 14,000
g	未 収 利 息 28,000	受 取 利 息 28,000

(3)

損 益 計 算 書

岩手商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,090,000	売 上 高	17,250,000
仕 入 高	12,580,000	期 末 商 品 棚 卸 高	1,170,000
売上総利益	4,750,000		
	18,420,000		18,420,000
給 料	2,640,000	(売上総利益)	4,750,000
(貸 倒 償 却)	153,000	受 取 手 数 料	168,000
(減 価 償 却 費)	285,000	受 取 利 息	28,000
支 払 家 賃	1,020,000	(貸 倒 引 当 金 戻 入)	37,000
保 険 料	132,000		
消 耗 品 費	59,000		
雑 費	21,000		
(有 価 証 券 評 価 損)	60,000		
(当 期 純 利 益)	613,000		
	4,983,000		4,983,000

貸 借 対 照 表

岩手商店

平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 資 本	金 額
現 金	579,000	支 払 手 形	1,580,000
当 座 預 金	1,880,000	買 掛 金	3,420,000
受 取 手 形 (1,500,000)		従 業 員 預 り 金	130,000
貸 倒 引 当 金 (45,000)	1,455,000	(前 受 手 数 料)	14,000
売 掛 金 (3,600,000)		資 本 金	8,000,000
貸 倒 引 当 金 (108,000)	3,492,000	(当 期 純 利 益)	613,000
有 価 証 券	1,980,000		
商 品	1,170,000		
(消 耗 品)	13,000		
貸 付 金	2,400,000		
(未 収 利 息)	28,000		
備 品 (1,900,000)			
減 価 償 却 累 計 額 (1,140,000)	760,000		
	13,757,000		13,757,000

(注意) 貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。